

土地改良地内に 位置確認表示板を 設置せよ

答 一括交付金の活用を目指し平成27年度から取り組む



玉城 勇 議員



読谷村の土地改良地区には緊急用標識が設置されています。

問 平成26年度中に、土地改良区内に位置確認表示板の設置することを検討するとあった。計画は進んでいるか。

副町長 平成26年度中で設置できるよう検討を行っていた。設置範囲や財源等を検討した結果、平成27年度に宮城土地改良区域から取り組みたい。一括交付金の活用を考えている。

危険な狭隘道路に
ハンプの設置を

問 集落内の危険な道路を安全・安心な道路にするためハンプ(道路を凸状にすること)の設置が必要であるが検討されているか。

副町長 近隣市町村を参考に地域からの設置要望があれば検討したいと考えている。

待機児童解消は
どうなっているか

問 保育園の待機児童を解消するための取り組みは進められているか。

副町長 平成27年度から29年度の3カ年間で待機児童解消を目指して取り組む。

民生部長 平成27年度で保育園の分園2カ所、事業所内保育園1カ所の計画がある。今後保育園の改築等で30人の定数増も考えている。さらに、小規模保育園が3年間で4カ所、そして今ある認可園の定数増など340人の増で待機児童ゼロになるよう計画をしている。

問 保育園の待機児童を解消するにはどのような問題があるか。

副町長 幼稚園の5歳児と4歳児の入園児童数を予測しながら考える必要がある。認可保育園の改装や分園、さらに認可外保育園の認可化や小規模保育園等の設置に取り組む。施設の増え過ぎも不足も問題である。慎重に進めながら、中間見直しを行う予定である。

延長保育で教育と
事故への対応は大丈夫か

問 幼稚園の延長保育が行われている。幼稚園教育及び事故の対応は協議されているか。

教育長 幼稚園教育の目的や目標及び幼稚園教育の基本を踏まえて預かり保育を実施する。事故の対応は、緊急連絡体制に基づいて処理する。